



## 卒業生の保護者を囲む会を実施しました

10月27日(木) R3年度高等部卒業生の保護者3名を講師にお招きし、職業教育等推進研修会(卒業生の保護者を囲む会)を実施しました。

卒業後の生活の様子や、進路決定にいたる経緯等について、司会と対話する形でお話いただきました。話題に上がったことをまとめたものを掲載します。

### ○ 日中活動について(就労、通所時間、給料や工賃など)

- ・ のどやか(生活介護事業所)に通所。通所時間は9:00~16:00。自宅まで送迎してくれる。昼食やおやつ代など含めて、利用料は月に1万円くらい。
- ・ キッチンハウスみやま(就労継続支援B型事業所)へ通所。自宅まで送迎してくれる。7:15頃家を出て、17:00頃帰宅する。工賃は、時給200円くらいで、1ヶ月25,000円程。その他に皆勤賞、精勤賞、努力賞、掃除当番等の手当が出る。昼食代は保護者が負担している。工賃がでると家族にごちそうしてくれる。
- ・ パーソルサンクスまえばし彩工房(特例子会社)へ就労。公共のバスをつかって1時間程度かけて自力で通勤している。月給は6~8万円程度。

### ○ 休日の過ごし方について

- ・ 第2、4土曜日は、事業所でレクを開催(参加自由)。気が向いたら参加している。その他にも、週末を利用して教習所に通い始めた(学科のみ)。休日は、遅くまで寝ていることが多い。
- ・ 平日は、自宅に帰ってくると趣味である紙ちぎり。21:00~22:00に就寝。土日は、父親と散歩(山など人通りの少ない所)。変化の少ない生活が本人の安定につながっている。

### ○ 卒業後の環境の変化で、大変だったことについて

- ・ 給料が出ても、銀行振り込みなので明細しかもらえず、「給料をもらった!」という実感がもてなくて困っている。一緒にATMに行き、給料を引き出すところを見せているが、実感がわかない様子。どうやって教えてら良いのか・・・。

### ○ 進路決定について、実習先や進路先を決めるための決め手について

- ・ はじめは一般就労を目指していたが、自力通勤が難しく、B型事業所に進路変更をした。「生き生きと実習している」、「毎日楽しそうに通えた」、本人が「ここに行きたい!」と言ったことが決め手になった。

### ○ 親離れ子離れの時期はどのように考えているか。自立、親亡き後のことについて

- ・ 自立については、寄宿舎を利用していたので、掃除や洗濯など身の回りのことのできるが増えた。できない部分をカバーしながら、少しずつ自分でできることを増やしていきたい。親亡き後のことは、自分がまだ元気なので、具体的には考えられていない。
- ・ 卒業後、自分の洗濯物は自分で洗うようになったり、気が向くと料理をしたりするようになった。自分自身、子どもが可愛いくて、心配しすぎて、子離れができずにいる。
- ・ いずれは施設への入所を考えている。気になっている施設の見学もしてみた。具体的にいつとは考えていないが、家族のバランスが崩れた時(父親が倒れる等)がタイミングになりそう。入所するのにも順番待ちがあるので、早くから見学等を済ませて、いざという時に備えたい。



当日の様子

掲載したものは一部ですが、この他にもたくさんのお話を伺うことができました、どの話も体験に基づいたもので、とても身に染みる内容でした。

参加された在校生の保護者の方からは、「様々な進路先の話を知ることができてよかった。進路を考える上で、参考になった。」や「色々体験させることが大切だと思った。」等の感想が寄せられました。